

□□□□□□□□□□□□■●●●●●●●●●●●●●●●●□□□□□□□□□□□□

平成 19 年

メールマガジン 『日本人の98%は知らないタイ株投資!』

Home Page はこちら 「タイ株(アジア株)と海外投資」 <http://thaikabu.net/>

Blog はこちら 「アジア株(タイ株)と海外投資」 <http://toatoajugem.jp/>

発行者 TOSHIYUKI ABE (タイ在住)

□□□□□□□□□□□□■●●●●●●●●●●●●●●●●□□□□□□□□□□□□

タイ株・タイ経済情報 第26号

今回からご登録開始していただいた読者のみなさま。
ご登録ありがとうございます。

タイ株(アジア株)と海外投資のブログを管理/運営/書き込みをしている
ASEAN JAPAN CONSULTING 株式会社 阿部と申します。

毎号読んでいただいている方もありがとうございます。

さて先週無事新しく出る新刊「日本人が知らなかったタイ株」翔泳社
の校了が終わりまして、ほっとできるかと思いましたが
パンローリング社・内藤証券主催の「海外投資祭り」にも参加するため、
その資料作りに追われています。<12月16日(日)になります。>

丸一日になりますが、海外投資のノウハウがぎっしりだと思えます。
しかも無料!!

このようなイベントが今後あるのか、どうか……。
チャンスは逃さないでいただければ幸いです。

担当するセミナー時間が短いのですが
できるだけ詰め込んでわかりやすくお伝えできればと思います。

そして翌日12月17日「日本人が知らなかったタイ株」が発売となります。
こちら16日(日曜日)から、アマゾンキャンペーンを開始いたします。

今回はかなり練ったプレゼントを用意します。
どうぞよろしくお願いたします。

そして2007年度、締めくくりとして
12月22日(土)にはセミナーズさんにてタイ株セミナーも行います。
こちらは少し個別銘柄中心です。
質疑応答や相談コーナーの時間も設けます。

少人数セミナーです。どうぞよろしくお願ひいたします。

整理すると

12月16日(日) パンローリング&内藤証券「海外投資祭り」

<http://www.panrolling.com/seminar/071216.html>

12月16日(日)夜 「日本人が知らなかったタイ株」アマゾンキャンペーン
＜リンクページは次回に！＞

12月22日(土) セミナース「タイ株上級編・セミナー」

http://www.seminars.jp/user/seminar_d.php?sCD=15069

になります。

さてそれでは第26号に入ります。どうぞ宜しくお願ひ致します。

(こちらのメールマガジンは転送可となっています。
御友人や御知り合ひでタイに関心ある方にどんどんお伝え下さい。)

□□ No1 タイ株初心者編です ■■

タイの選挙運動が活発になっています。
街中はあられんばかりの選挙看板です。

一方、世界の金融市場はサブプライムローン問題によって揺れている中、
アラブ首長国連邦(UAE)の政府系ファンド「アブダビ投資庁」が
75億ドル(約8100億円)の出資をすることと発表しています。

その前の月はシティ、バンク・オブ・アメリカ、JPモルガンの
米銀3行による「サブプライム対策基金」の設立合意が話題になっていました。
このサブプライムローン問題も根深いようですが、
ある程度落ち着いてくればタイ株式市場も回復してくると狙っています。

タイ証券取引所 SET 総合指数は

11月30日現在で846.44ポイントでして、少し回復しています。

1ヶ月前が下記の記事です。

タイ証券取引所(SET)株価指数は10月26日午後、
過去11年で最高値となる911.60ポイントまで上昇しました。
その後は利益確定売りなどの動きによって下げ、
終値は前日比1.12ポイント(0.13%)高の894.57ポイントでした。
これにより、2007年初からの上昇率は32%になりました。

11月は下げたかたちとなりましたが、
12月から1月にかけては上昇するケースが多いのがタイ株式市場です。

ただし、選挙の行方如何にかかってくるものと思われます。
タイの個別政党をご覧になりたい方はブログとNo3でご確認を。

□□ No2 タイ株上級者編です ■■
タイ株の上場企業詳細のコーナーを作りました。

●● シノタイ・エンジニアリング(STEC) 026 です。 ○○

今回はこないだふらっと寄ったペッチャブリー通りの北側地域で
大規模工事をしていたので、写真に収めてきました。
空港エアポートリンク建設工事の真っ最中でした。

この企業はゼネコン第3位のタイの建設事業社になります。

シノタイ・エンジニアリング(STEC)は
タイ国ゼネコン業界にて第3番目の資産規模の会社になります。
1967年にチャバラット氏によって設立されました。
本社はアソークのシノタイタワーにあります。
オフィスビル、病院、会議場、デパートなどの大型施設から、
エネルギー関連施設や環境設備、工場設備等のインフラ建設、
通信設備建設を行う企業です。

通信設備(次世代3G通信への電波線)等の建設にも強みを持ちます。
新空港建設では空港レールリンクプロジェクトを受注しましたが、
2006年7月空港路線の欠陥工事が露見して
やり直し工事をする事となり、株価を大幅に下げ結果となっております。

□□ No3 タイ国内ニュース編です ■■

タイの政治が12月もっとも話題をさらいそうな内容ですが、
実際問題、混沌としています。

まず票数獲得がもっとも多いと予想されている
パラン・プラチャーチョン「国民の力党」
こちら前回のメールマガジンでもご紹介しましたが、
旧タクシン勢力・かつタクシン政策を引き継ぐと言い切っている
党です。こないだ旧タイ愛国党のビルも全てこの党のロゴマークに

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120

Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

変わっておりました。
ほぼニアイコールでタイ愛国党です(笑)

そしてプラチャー・ティパット「民主党」
若いエリート・リーダー、アピシット氏を中心に
なんとか勝利を取って行きたいと頑張っていますが、
どうも苦戦のような流れです。

そしてチャートタイ。「タイ国民党」です。
こちらバンハーン党首が、上位二党が過半数を取れない
見通しであることから第三位の政党がキャスティングボート
(casting vote)を握りそうです。

そして最近もめているのが
「マッチマー・ティパタイ「中道主義党」です。

こちらは旧TPIグループのトップであった
プラチャイ・リャオパイラット氏を党首に仰ぎ、
大きく選挙活動をしていましたが、党名を変える、変えないでもめています。
(他にも出馬区に関してなどいろいろと問題が発生。)

やや蚊帳の外的展開になりつつも
まだまだ分からない、他二党、プア・ペンディン党「国民のため党」
ルアム・チャイタイ・チャートパッタナー「タイ合同国家開発党」
も選挙後の動きによっては与党入りの可能性もわずかにあります。

どのような顔ぶれかはブログで掲載していますので、
ご覧いただければと思います。

ブログは paran・プラチャー・チョン(国民の力党)から解説しています。
<http://toatoa.jugem.jp/>
になります。

□□ No 4 追伸です ■■

「フリーマガジン：Dマークは読まれましたか？」

こちらがDマークマガジンのページです。
<http://www.d-mark.jp/howtoget/>

「どこに置いてあるのかわかんないよ！！」

と言うメールもいただきましたので、
こちらで解説しておきます。

Dマークマガジン配布場所は主に下記の場所になります。
〈東京都を中心としたタイ関連機関・企業などに設置しています〉

タイ王国大使館領事部
タイ王国大使館商務参事官事務所
タイ王国大使館投資部(BOI)
タイ国際航空
社団法人 日タイ経済協力協会
財団法人 アジア学生文化会館(ABK)
日タイロングスティ交流協会
国際機関 日本アセアンセンター
エイチアイエス(HIS)各支店
「品川区・渋谷区など」
バンコクエアウェイズ
大東文化大学
東京外語大学
神田外語大学
都留文科大学

有名な場所だけ挙げると上記箇所になりますが、
タイ料理レストラン・タイ関係施設・タイ語語学学校を含め
200箇所以上になります。

一番ポピュラーな場所はやはり「タイ観光庁東京支部」
でしょうか。JR有楽町駅、地下鉄日比谷駅から徒歩です。

ブログでも掲載していきます。

最後までお読みいただきましてありがとうございました！

阿部

P S アマゾンキャンペーンは面白い企画を用意しています。

●注意事項です

- 1：こちらのメールマガジンは客観的情報の提供を目的としており、投資等の勧誘または推奨を目的としたものではないことをご了承ください。
- 2：タイの情報については細心の注意を払っておりますが、その内容に相違が発生する場合もあり、保証するものではありません。
- 3：タイの株式売買決定は自己責任でお願い致します。

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120

Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

